



公民館報

くしもと

No.126

(2026/3/1)

編集・発行：教育課

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

ほうきょういんとう

吐生の宝篋印塔

町指定文化財 建造物
昭和58年4月10日指定

今月号の表紙は有田吐生地区の宝篋印塔です。宝篋印塔は仏教石造物で、主に経典を納めて建立される供養塔です。

写真は吐生地区に三塔あるうちのひとつで、基礎の下部に十六葉復弁の反花。隔飾りは二重で先端がころもち開いています。

また、相輪の部分は請花・九輪ともに線刻で、鎌倉南北朝時代のものに比べるとかなり退化しており、室町中頃の作と推測されています。



令和8年 二十歳の集い

1月3日、13時から串本町文化センターにおいて「令和8年二十歳の集い」が開催されました。

式典には、対象者97名のうち、男性41名、女性33名の計74名が色鮮やかな振袖、スーツや羽織袴で出席しました。式典では実行委員会の鈴木美咲子さんと岩見諒さんが司会進行役を務めました。田嶋町長の式辞、芝山町議会議長、佐藤県議会議員の祝辞の後、坂本教育長が宮崎県知事からの祝電メッセージを披露しました。その後、参加者を代表して、野村行誠さんが「誓いの言葉」を読み上げました。

田嶋町長は「社会人として第一歩を踏み出す中で色々と悩み大きな壁にぶつかると思うが、一つのデータを取るという気持ちで向かってほしい。夢を追いかける皆さんを全面的に応援していきたい。」とエールを送り、野村さんは「自分自身の行動が周囲に与える影響を常に意識し、地域社会の一員としてよりよい社会づくりに貢献する。個性を活かし自信を持って社会に貢献できる人材となれるよう努力する。」と誓いの言葉を述べました。

式典後はささなみ楽器工房の長谷川敬祐さんが楽器演奏で素敵な音色を披露。その後、町立体育館で記念撮影が行われ、参加者は久しぶりの再会を喜び、笑顔で晴れの門出を祝い合っていました。



第19回 ソフトテニス大会



11月23日サンナンタンテニスグラウンド
テニスコートにおいて、第19回串本
町ソフトテニス大会が開催されまし
た。一般から小学生までの53名が参
加し、幅広い年齢層で交流を深めま
した。

各部門の結果は次のとおりです。

【団体戦の部】

優勝 チーム「ラケット」

【ペア小・中学生の部】

優勝 山下 翔・村上 輝 組

【ペア熟年・学生部門】

優勝 芝 蒼海・浦東きみ子 組

【ペア一般・学生部門】

優勝 升谷玲恩・脇川直也 組



終戦80年企画

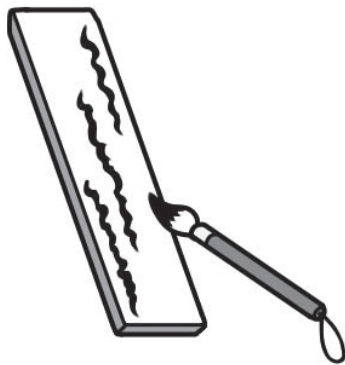
平和川柳

昨年7月から募集しておりました、
第五福竜丸建造の地平和の歴史展実
行委員会主催による終戦80年企画、
平和川柳につきまして、小学生から
一般の方まで、144名の方から2
21句の作品を提出いただきました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

応募作品から入賞作品を選考いた
しましたので、ご紹介します。(お
名前はペンネームを含みます)

【応募総数】

○一般の部	17名	33句
○小学生の部	58人	94句
○中学生の部	69人	94句



【一般の部】

- 好きなもの おなかいっぱい 平和こそ
- 飢えた子に アンパンマンよ 飛んでゆけ
- 出てみたい 戦後百年 祝賀会
- 幸せは みんなとともに 生きること
- ニコニコと ゴルフができる 平和空

baumクーヘン

稲生 ちづる

ドットちゃん

ひろし

四村 良

【小学生の部】

- 戦争は 必要のない 物語
- 平和とは みんなで仲よく 生きること
- せんそうは こわくかなしい やめないと
- なぜするの なにもうまない 戦争を
- 剣でなく わたしは希望を もっている

井上 月紫

岡内 健祐

山本 陽大

りん

三木 日菜乃

【中学生の部】

- ただいまと 言えるこの日が 宝物
- うれしいな ぜいたくはもう 敵じゃない
- 笑い声 戦争したら きこえない
- 戦争は なにも得なし やめようよ
- 見たことない 銃に空襲 それでいい

小高 采音

稲田 湊

新田 凜

がりぞこ

ネム

文化財防火訓練



1月21日に無量寺(串本)、27日に善照寺(古座)において、文化財防火訓練を実施しました。町消防署協力のもと、出火時の初期消火から通報避難誘導、文化財搬出までの一連の流れを訓練しました。無量寺では消防隊による放水訓練も行いました。

第72回を迎えた1月26日の「文化財防火デー」前後に行うこの訓練は、火災、震災、その他の災害から文化財を守るため毎年実施しています。近年のフランスのノートルダム大聖堂や沖縄県那覇市の首里城跡といった文化財の火災を受け、文化財等の防火対策が一層推進されています。文化財を火災から守るためには、火

気管理等の出火防止対策を徹底することはもちろんですが、文化財関係

者だけではなく、地域住民との連携・協力が必要となります。地域ぐるみの保護活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

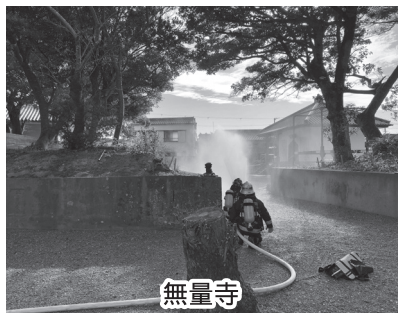
●文化財防火デー

昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺で火災が発生し、金堂の壁画が焼損しました。これを機に文化財を火災、震災、その他の災害から守るため、文化財防火運動を展開しようとして毎年1月26日が「文化財防火デー」として制定されました。以来、毎年この日を中心に各都道府県教育委員会

各消防署、文化財所有者等の協力を得て、文化庁と消防庁が連携・協力して全国各地で防火訓練などの文化財防火運動を展開し、文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。



善照寺



無量寺



無量寺

「紡ぐプロジェクト」

成就寺「方丈障壁画」修理事業

成就寺が所蔵し、県立博物館が保管する長沢芦雪筆・重要文化財「方丈障壁画」45面のうち、「紙本着色花鳥群狗図」4面と、「紙本墨面唐獅子図」4面の襖絵が、京都国立博物館内の修理所にて修理されています。

「紡ぐプロジェクト」は、皇室ゆかりの美術工芸品や国宝・重要文化財など、日本の美を未来へ伝え、世界へ発信していくために、文化庁、

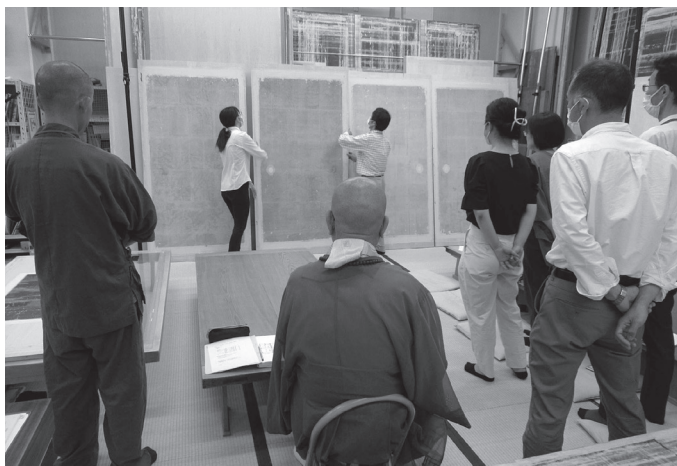
宮内庁、読売新聞社が官民連携で取り組む事業です。

昨年度に引き続き修理中の8面は、日焼けや虫食い等による傷みが進んでいるため、令和6年4月に県立博物館から修理所へ移送されており、今年度は古い裏打紙を取り除き、新しい裏打紙を貼って襖に仕立て直す作業を行っています。

7月3日に進捗状況の確認と修理方針の協議のため、修理を請け負う株式会社松鶴堂の修理所に成就寺大崎住職と文化庁、県と町の教育委員会担当職員等が集まり、絵が描かれた本紙の裏面の状態を確認しました。裏面への墨の浸透具合や側面、引手穴付近の墨の塗られ方を観察し、どのような状態で制作されたかを研究する機会にもなりました。

確認作業は問題なく終了し、引き続き作業を行い、令和8年2月に最終的な確認後、3月に作業が完了して県立博物館に戻される予定です。

令和2年度から続く本修理事業は、今回の修理で全45面の内、21面の修理が終了となります。令和8年度からも引き続き「紡ぐプロジェクト」の助成が決定しましたので、「紙本着色唐獅子図」8面、「紙本墨面曹孟徳図」4面、「絹本着色群雀図」4面の修理に取り組む予定です。



第25回 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

令和8年2月8日和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催されました。

紀三井寺公園陸上競技場から県庁前までの10区間(21・1km)を小学生4名、中学生6名がタスキを繋ぐコースで健脚を競いました。

松下大祐監督の指導のもと、メンバーは昨年から監督や実行委員の皆さんと共に練習を積み重ね、近隣の大会等に出場した経験を活かし、大会に臨みました。松下監督ほか8名のジュニア駅伝卒業生が実行委員として協力してくれました。



結団式

当日は強風の影響等もあり、「昨年のタイムを上回る」という目標は達成できませんでしたが、1区から10区まで懸命にタスキを繋ぎ、参加29市町中17位と健闘しました。串本町代表として参加したメンバーは次のとおりです。

【市町村対抗オーダーチーム】

- 1区 三木 琉聖 (古座中1年)
- 2区 宮本 凜 (古座中3年)
- 3区 沖 莉乃愛 (橋杭小6年)
- 4区 柿本めばえ (潮岬中1年)
- 5区 浦畑 翔真 (潮岬中2年)
- 6区 堺 陽葵 (古座小5年)
- 7区 谷口 天記 (古座小6年)
- 8区 中村 珠菜 (串本中2年)
- 9区 谷坂 春真 (潮岬小6年)
- 10区 清水 聡友 (潮岬中3年)

【オープンの部オーダーチーム】

- 1区 稲田 湊 (串本中2年)
- 2区 岩見 嘉子 (潮岬中1年)
- 3区 三栖 百華 (串本小4年)
- 4区 岡内ちなみ (串本中1年)
- 5区 山崎 春翔 (潮岬中3年)
- 6区 三木日菜乃 (古座小4年)
- 7区 西 優利 (潮岬小5年)

- 8区 濱口 奏 (串本中2年)
- 9区 谷坂 蒼太 (潮岬小4年)
- 10区 交田 匠太 (潮岬中2年)

- 岡地 翔星 (串本中2年)
- 坂本 昊佑 (潮岬中3年)
- 浦畑 綾乃 (潮岬中3年)
- 清水 寛太 (潮岬中1年)
- 松原 妃奏 (近大新宮中2年)
- 佐藤 未羽 (串本小4年)
- 森下 瑛大 (潮岬小4年)
- 谷口 哲平 (出雲小5年)
- 上地絵美里 (出雲小5年)
- 村上 心菜 (出雲小5年)
- 橋本 朔迪 (出雲小4年)
- 高橋 裕人 (橋杭小5年)



スタート!



串本町ジュニア駅伝チーム

【大会結果】

串本町ジュニア駅伝チーム
第17位 (1時間21分34秒)

これまでの活躍

- ◆新春田辺長距離走大会 (1月10日)
小学4年男子の部1位 谷坂蒼太
小学5年女子の部3位 堺 陽葵
小学6年男子の部2位 谷坂春真
中学1年男子の部1位 三木琉聖
- ◆新宮市駅伝大会 (1月18日)
中学生男子の部Aチーム 2位
小学生男子の部Dチーム 優勝

短歌講演・講評会

2月6日午後1時30分から、町文化センターにて、町教育委員会主催による短歌講演会・講評会が開催されました。講演会では、毎日新聞紀州歌壇選者の岸田正幸氏が「紀伊の国の万葉歌を読む」をテーマに春の短歌を中心に紹介されました。町内外から応募のあった58首について、岸田氏に事前に選考していただき、講評を交え入賞者を発表しました。

【特選】

○ジェット雲一直線に空を切る 別の生き方あっただろうか

森 悦子

○眠りつつ空をつかむか新孫よ難しき世も健やかであれ

堀口 和子

○傾きて門閉されしつる草の花芽がからむ母校なりしを

清水 雅昭

【秀作】

○久々に柚子を搾れば背後から「さんま寿司か」と亡夫の声きく

米津りつ枝

○故郷の変らぬ野山の写真撮り手紙と送る施設の姉へ

石垣 実男

○雲間行くドクターヘリに運ばれる我身見つめんしかと目を開け

田中美智子

○幼日の遠景にあるげんげ田の向こうを走る蒸気機関車

田林 和子

○言ひ過ぎしを言葉に出来ずつくし摘む母の手元をただ見つめあつ

引地 貞子

【佳作】

○美しき子らの歓語聞こゆなり明年閉づとう学舎の朝に

溝内 聡子

○手を出せば寄りくる牛の積まれ行く際の踏ん張り見ていた父子

岡田 敏朗

○オウオウと鳴く牛蛙お前もか腹の底から泣いてみたいよ

田中 久恵

○思い出は8分音符が二度だけの休符だらけの君とのメロデー

山本 温

○いにしえの人ら石積みし段畑に父母の植えたるみかん色づく

北野 惣一

○草ひけば貝殻ころころ転び出ぬはるかな夏の夢を留めて

中西みよ子

○ふる里の露おく野辺に曼珠沙華米寿に逝きし弟の頭つ

西村 良子

○この庭にたれ植ゑくれしや藤袴九月こよひの月に咲き満つ

中根寿美子

○難聴の耳に虫の音遠くして風の色にぞ秋立つを知る

若野 順子

○初秋の葉先に縋る空蟬の祈りのかたち我を捉ふる

籠田くみよ





特別寄稿

地域おこし協力隊

藤岡 さくら

はじめまして。串本町地域おこし協力隊として、和歌山県立串本古座高等学校にある公営塾「くろしお塾」で講師をしています。藤岡さくらです。

大阪市出身で、2025年の7月頃に串本町へ引っ越してきました。ここでは、着任から半年が過ぎた今、なぜ地域おこし協力隊になったのか、当初からこれまでの活動を振り返り、これから串本町でどのように関わっていきたいのかを書き記していこうと思います。

私が地域おこし協力隊に応募をした理由は、教育に興味関心があったからです。

私は、自身の過去の経験から、従来の学校教育に疑問を抱いていました。一方的で画一的な授業形態では、どうしても「受け身な学び」が生まれてしまい、受け身な姿勢や他責思考につながりかねません。

先行き不透明な社会を生き抜くためには、自分の頭で考えて意思決定し、行動することが大切なのではないか。テストや受験のためだけではなく、「自分自身の未来を主体的に考えるきっかけとなる学び」こそ、これからの

時代に必要なのではないか。そんな問題意識を持っていた時に、地域おこし協力隊としてくろしお塾で働く募集を見つけました。

くろしお塾では、学習支援に加えて「地域みらい学」という独自の学びを展開しています。社会情勢・経済・地域課題など、学校の授業では扱われにくいテーマを取り上げ、生徒が新しい価値観に触れ、地域や自分の未来を考えるきっかけをつくる取り組みです。

地域の方々や大学教授を講師に招き、講演会や座談会を行うことで、普段触れることのない職業や専門分野に出会う機会を提供しています。これはまさに、私が関心を寄せている「自分の未来を主体的に考えるきっかけとなる学び」で、強く魅力を感じました。

また、くろしお塾がある串本古座高校では、全国から生徒を受け入れる地域みらい留学に取り組んだり、地域資源を生かした体験的な学びを推進したりと、従来の学校教育の枠から逸脱している点にも面白さを感じ、応募を決意しました。

初めて串本町を訪れたときには、圧倒的な自然の豊かさに心を奪われま

た。海と山に囲まれ、鳥の声がよく響いていました。遠くから眺める海は深い青色で、近くに寄ると驚くほど透き通って見えました。山あいには清流古座川

が流れ、夏には何度か川に入って遊びました。今まで見てきたどの川よりも澄んでいて、自然の力強さと清らかさを感じました。夜になると空気の透明度が一層際立ち、満天の星空が広がります。まるでプラネタリウムのような景色に、思わず立ち尽くしたのを覚えています。

また、串本町は想像していた「地方のイメージ」とは違い、想像以上に栄えていて、人の動きも多いことに驚きました。自然の豊かさと生活の便利さが両立しており、不自由なく生活できると感じました。



着任してからのこの半年間は、私自身が学びながら模索する日々でした。興味のある教育の分野で、私は何を

大切にしたいのか。そのような社会をつくりたいのか。そんな問いを抱えながら、日々生徒と関わっています。ときには、生徒に相談相手になってもらい、

自分の考えを聞いてもらうこともあります。大人だからといって常に正しいわけではなく、悩みながら生きている姿を見せることも、教育の一つだと感じています。

高校生は、大人が思っている以上に成熟した考えを持っています。そのため、生徒と接するときには「先生」や「大人」としてではなく、一人の人間として等身大の自分で向き合うことを意識しています。大人も悩み、迷い、模索しながら生きていること。生きるとはそういう営みの連続であること。それを自然な形で伝えたいと思っています。

今後は、彼らを一人の主体として尊重し、対等な関係性の中で学び合える場をつくっていきたくと考えています。就任から半年が過ぎ、ようやく慣れてきて「ここからだ」という感覚があります。

正直、心が折れそうになった時期もありましたが、周りの方々に支えられ、今は楽しく活動させていただいています。地域のことをまだまだ知らないという痛感する場面も多く、これからはもっと地域の人と関わり、積極的に外へ出て学んでいきたいと思っています。そして、高校生へのアプローチを中心に、串本町全体に貢献できるように活動を続けていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いたします。



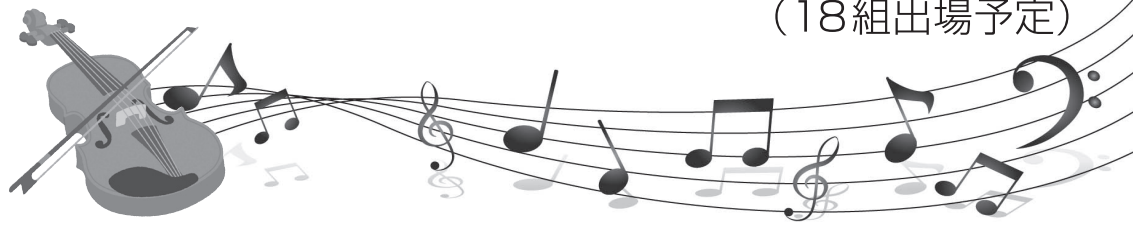
第21回 町民音楽祭

令和8年3月1日(日) 13:00~ (開場12:30)

会場：串本町文化センター大ホール (入場無料)

器楽・詩吟・詩舞・邦楽・踊り・コーラスほか

曲目の載ったプログラムは、当日入場口でお配りします。
(18組出場予定)



主催：串本町 / 串本町教育委員会 / 串本音楽協会

教育課よりお知らせ

町民音楽祭 バンドの部

令和8年3月8日(日) 13:00~



曲目の載ったプログラムは、当日入場口でお配りします。(5組出場予定)

図書館より 新着図書のお知らせ



- ◆濱地健三郎の奇かる事件簿 有栖川 有栖
- ◆まるさんかくしかくみつた かしわらあきお
- ◆神さまショッピング 角田 光代
- ◆めいたんていオレ 澤野 秋文
- ◆口訳 太平記 ラブ&ピース 町田 康
- ◆かいけつゾロリ ニセゾロリあらわる!!
- ◆空、はてしない青 (上・下) 原 ゆたか
- メリッサ・ダ・コスタ
- ◆奇妙でフシギな話ばかり ブルース・コウヴィル
- ◆最新科学が覆す 体にいいのはどっち?
- ◆マネジメントシステムのひみつ 日夏 なつお
- 山田 悠史
- ◆こんにちは 弱いロボット 岡田 美智男
- ◆ミステリ作家、母になる 辻堂 ゆめ
- ほか